

平成27年度
第16回愛知県知的障害関係施設職員等研究大会 開催要綱

『共生社会のためにすべきこと』

～人権のまもり手としての支援者の在り方～

障害者権利条約の根幹は、「障害は個人でなく、社会の側にある」という視点である。そこには、あらゆる差別の禁止、社会参加の権利、インクルージョン等々の権利と自由、そしてこの実現に向けた国としての義務からなっている。我々支援者は、この条約と憲法で保障された普遍の権利を守るために、また身近な擁護者であるために日々取り組まなければならない。

とりわけ、キーワードである合理的配慮とは、障害のある人が他の人同様の人権と基本的自由を享受できるように配慮や調整を行うことであり、日常的な支援の中で、あるいは就労場所等の社会生活の中でどのように対応することが、ご本人の最善の生活であるのか。

私たちはその正しい在り方を率先して実践し、社会に対して示していくことも重要な責務ではないだろうか。

また、基本理念を同じくする障害者差別解消法は施行を目前に控え、条約の目指すところの福祉社会のための法整備も一步一步整いつつある。

一方で残念なことに、支援者による障害者虐待のニュースが後を絶たないが、その根底にあるものを明らかにし、今一度その根絶に向けた意識改革と支援環境の改善にも努めなければならない。

本大会では、障害の如何に関わらず誰もが安心して暮らせる社会に向け取り組むべき課題について、講演、鼎談、分科会を通し今一度確認し、また新たに検証するとともに、分科会では各事業の本質と課題を改めて考察し、明日からの支援に向けた手立てとしたい。

期 日 平成28年2月9日（火）～10日（水）

会 場 ロワジールホテル豊橋

〒441-8061 愛知県豊橋市藤沢町141
Tel 0532-48-3131 Fax 0532-46-6672

主 催 一般社団法人 愛知県知的障害者福祉協会

後 援 愛知県、名古屋市、豊橋市、愛知県社会福祉協議会、愛知県知的障害者育成会、名古屋手をつなぐ育成会、愛知県知的障害者施設家族連合会、一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会、豊橋観光コンベンション協会

対 象 者

- ①障害福祉サービス事業所・施設の長（施設長及び管理者）
- ②障害福祉サービス事業所・施設の職員
- ③障害福祉サービス事業・施設の利用児者の家族
- ④自治体の障害福祉行政及び保健、保育、医療、教育、労働等の担当者
- ⑤その他関係者

参加費

- ①大会参加費 会員 8,500円(会場費、資料代、講師招聘費等の大会運営費)
※非会員施設の方は参加費9,500円となります。
- ②経験交流会 7,000円(希望者のみ)
- ③2日目昼食代 1,700円(希望者のみ)
- ※昼食を希望されない方は、別途ホテル館内やホテル周辺の飲食店をご利用下さい。

日程

第1日目 2月9日(火)

12:00	13:00	13:30	40	15:45	16:00	17:15	18:00	20:00
受付	開会式 (表彰式)	休憩	講演I	休憩	鼎談	休憩	経験交流会	

第2日目 2月10日(水)

9:30	12:00	13:00	14:30	40	15:10	15:30
分科会	昼食	講演II	休憩	分科会報告	閉会式 アート展 表彰	

表彰式典

■開会式

研究大会〔開会式〕において、本会「表彰規程」に基づき下記の受賞対象者に対する授与式を併催いたします。研修と併せて該当する方は式典(開会式)よりご参加ください。

- ①平成27年度「会長表彰」
- ②永年勤続表彰「10年勤続表彰」

■閉会式

2月9日(火)より開催の「ぼくらのアート展」の入賞者の表彰を行います。

研修プログラム

第1日目(2月9日)

■講演 I ■

「あたし研究2015」

小道 モコ 氏 (作家)

* 小道 モコ

1970年生まれ。30歳を過ぎてからASDと診断を受ける。当事者の立場から月に1回程度の講演活動を行っている。「あたし研究」他著書多数。

■鼎談■

「何故起こる障害者虐待」(仮題) ～その根絶に向け～

パネラー

- 手嶋 雅史 氏 (椋山女学園大学 准教授)
追分 伸夫 氏 (県福祉協会 権利擁護委員長)
磯村 有吾 氏 (県福祉協会 副会長)

第2日目(2月10日)

■講演II■

「障害のある生活への合理的配慮」(仮題)

福岡 寿 氏

(長野県地域支援力向上スーパーバイザー、日本相談支援専門員協会顧問)

*福岡 寿

長野県での地域移行など先進の地域モデルを実践した等々自らの経験をもとに、障害者の気持ちに寄り添った支援の在り方を独特のユーモアを交えて熱く語る障害福祉コーディネーターの第一人者。

現在でも、様々な役職の傍ら現場での支援と後進の指導に当たる。「施設と地域のあいだで考えた」など著書多数。

■分科会■

※分科会発表者は村上基金「学術研究助成部門」の対象（申請必要）となります。

分科会一覧（幹事・司会・発表者等別紙参照）

- 1 児童発達支援部会 『地域の子どもとして暮らすためには』
幼少期より健常児と距離を置き、「障害児」という異なったルールの上で成長していく子どもたちが如何に社会と接点を持ち、将来の社会生活につなげていくのか。
- 2 障害者支援施設部会 『入所施設職員のディーセントワーク』
GH等への地域移行により、障害の重い利用者中心となった入所施設にあって、そこで働く職員のやりがいやモチベーションアップへの工夫や対策について考える。
- 3 日中活動支援部会 『高齢化への支援の在り方』
旧通所更生施設等からの継続利用やGH利用者の日中の受け皿としての事業所にあって、顕著となってきた高齢化の現状と対策について研究協議する。
- 4 生産活動就労支援部会 『働くことへの支援とは』
様々な法改正によって追い風となってきたかに見える障害者雇用の現況と課題や、工賃向上と働きがいを目指す有効な取り組みなどについてそれぞれの立場から考える。
- 5 地域支援部会 『GHの現状と課題』
長期利用による高齢化や、支援度の高い利用者への支援。また一方で、サテライト型へ移行など、どんな障害をもっている、地域で暮らすことの意義を再考する。
- 6 相談支援部会 『本人支援と家族支援』（施設利用者のアセスメントと利用計画）
事業所利用者の支援の在り方を広く相談支援の立場から検証する。
- 7 家族部会 『知的障害者の成年後見制度』
ご家族と後見人の関係性や、親亡き後の支援の在り方、また知的障害者への成年後見の意味などを制度を再考する中で明らかにしていく。
- 8 人権ワークショップ 『アンガーマネジメントを学ぶ』
怒りをセルフコントロールすることで、適切なコミュニケーションや問題解決を図り、支援に活かす技術を学ぶ。

経験交流会

分科会参加者が、分科会ごとに分かれて相互に意見交換、情報交換をするとともに、親睦を

図る。経験交流会に申し込まれた方は、名刺等を適量ご用意の上ご参加ください。

平成27年度 第16回愛知県知的障害関係施設職員等研究大会 分科会テーマ、司会者、発表者等一覧

No.	分科会・テーマ	幹事・助言者	司会者	補助	発表テーマ	発表者	施設・事業所名	役職名
1	第1分科会 (児童発達支援部会) テーマ 「地域の子どもとして暮らすためには」	三宅 和人 大府市発達支援センター おひさま	加藤 弥生 半田市立つくし学園	—	1 自分の思いを伝えてほしくて～一人一人の支援に合わせた療育を探して～ 2 保育所等訪問支援を通しての地域支援	松崎比紗子 亘子 祐浩 岩田 太田	名古屋市あけぼの学園 一宮市立いずみ学園	保育士 相談支援専門員 訪問支援員
2	第2分科会 (障害者支援施設部会) テーマ 「入所施設職員のデイリーワーク」	榎本 博文 ひまわりの風	寺部 美代子 シンシア豊川	村越 健吾 あかね荘	1 人事アンケート・職員研修からみた職員の働きがいについて 2 「働きがい」へ向けての取り組み	北村 榮章 森 温貴	社会福祉法人よつ葉の会 豊橋ちぎり寮	総合施設長 生活支援員
3	第3分科会 (日中活動支援部会) テーマ 「高齢化への支援の在り方」	菅沢 豊 青空の家	高津 博丈 デイセンターおおそ	大西 晃則 けやきの家	1 高齢福祉サービスへの移行調査について 2 高齢化への支援の在り方 ～トクさんの支援から考えること～	竹内 涼 高嶋 茂久	碧南ふれあい作業所 サポートセンター being 小本	管理者 生活支援員
4	第4分科会 (生産活動・就労支援部会) テーマ 「『働く』ことへの支援とは」	菊池 孝敏 あじさい	加納 健二 そぶえ福祉園	久田 弘治 つづはし作業所	1 地域で働くということ 2 農業分野の取り組みを通して	川口千鶴子 磯部 竜太	かしのきサポートプラザ 社会福祉法人無門福祉会	管理者兼 サービス管理責任者 事務局長
5	第5分科会 (地域支援部会) テーマ 「普通」に暮らすを支援するには」	渡部 等 あつたか生活支援センター	繁原 幸樹 シヤローム	永田 誠 地域生活支援センターりんく	1 「なないろ」の暮らしを支える 一 支援度の高い方の地域生活支援 二 仲間から見たホームの評価アンケート 集計と分析(地域実践会議)	三宅 徹 福生 直幸 石田 誠樹	障害者支援施設まどか あつたか生活支援センター ゆたか生活支援事業所みどり	サービス管理責任者 サービス管理責任者 サービス管理責任者
6	第6分科会 (相談支援部会) テーマ 「本人支援と家族支援(施設利用者のアセスメントと利用計画)」	雲出 道博 ガイア相談支援センター	山崎 隆行 ホテルの郷相談支援事業所	大竹 尚美 REN	1 高齢の障がい者に対する支援 ～介護保険と相談支援の関係～ 2 権利擁護の観点から支援を考える	松田健三郎 前田 修	ガイア相談支援センター 岡崎市障がい者基幹相談支援センター	相談支援専門員 スーパーバイザー
7	第7分科会 (家族部会) テーマ 「知的障害者の成年後見制度」	助川 道教 愛施連	助川 道教 愛施連	山本 勇 愛施連	1 兄弟の立場で考える 2 成年後見に対する思い	助川 道教 伊藤 正矩	愛施連 愛施連	会長 副会長
8	第8分科会 (人権ワークショップ) テーマ 「アンガーマネジメントを学ぶ」 (講義と演習)	講義・演習	(講師) 鎌田 博幸 田原授産所	村崎 正明 サポートベサの木	アンガーマネジメントを学ぶ！ ～怒りのコントロールで虐待を減らす 怒りをセルフコントロールすることで、 適切なコミュニケーションや問題解決を 図り、支援に活かす技術を学ぶ。			